



特集：第2回防災訓練に向けて

衣川台にお住いの皆さま、6月12日の第1回防災訓練においてはコロナ禍の中、多数のご参加ありがとうございました。新たな安否確認システムでの実施で、課題も多々見つけられ有意義な訓練であったと考えております。課題を少しずつ解決し、新安否確認システムを改良しながら定着するために、11月13日(日)に第2回防災訓練を予定しております。自主防災部の活動においても、多くの課題が見つかり、防災訓練の回を重ねることで有事の際にきちんと行動できればと考えております。

内容

1. 自助・共助・公助における安否確認の位置づけ
 2. 前回(6月12日)の防災訓練の振り返り
 3. 第2回(11月13日)防災訓練へ向けて
 4. その他ご連絡
 - a. 救出救護訓練ご報告(第1回防災訓練時に実施)
 - b. 消火訓練(9月4日実施)
- (裏表紙) 第2回防災訓練のご案内

1. 自助・共助・公助における安否確認の位置づけ

自助とは、“どのような事態においても、**自分の命は自分で守る**”という考え方のことです。ただ有事の際、特に大地震に対しては、日頃からの準備も大切です。

- 大地震が起こった時に、何をどんな手順ですべきか。
- 家具類の地震対策はOKか
- 食料や避難対策はOKか
- “命のボタン”は設置されているか、情報は更新されているか
- …

共助とは、“災害時は自助の考え方つまり個人の力には限界があるので、**同じ地域に住んでいる住民同士で助けあう**”という考え方のことです。有事の際、一人でも多くを安全にという目的のもと、衣川台の住民全体が連帯共同して行動できるようになることが、自主防災部の目指す共助の一つと考えております。自主防災部の活動において、プロフェッショナルでなくてもかなりのレベルまで達成可能であるのが安否確認です。安否確認活動を通して、安否不明の世帯へのアクセスが迅速にでき、火災等の発生の早期発見も可能であり、災害の規模の把握もできます。

公助とは、言うまでもなく、“国民や住民の生命、財産を守ることは、国や地方公共団体の最大の任務である”という考え方です。ただし、大規模な地震に際しては、個別の対応は非常に遅れることが予想され、上記の自助・共助への依存が大きいのが現実です。

黄色い安全確認旗の掲示は、自助から共助への橋渡しと考えられます。まずは自分や家族の安全を第一に考え、それが十分に確保できたならば、次に共助をおこなう最初のアクションが黄色い安全確認旗の掲示で

す。ご近所の世帯も安全か、ご確認いただき、是非安否確認活動へのご参加をお願い致します。もしも、ご自身の安全に問題があり、黄色い安全確認旗が掲示されていなければ、きっとご近所が安否を尋ねてこられます。

2. 前回(6月12日)の防災訓練の振り返り



組長さん、前年度組長さん、
ご協力ありがとうございます。



おとなり近所の姿が少ないで
す。(共助が心配・・・)

聞き取れましたか？



対策本部
ちょっと、雑然としている？



安否のご報告、ありがとうございます。



当日の安否確認状況は次の通りでした。

- 在宅世帯:354 (内、黄色い安全確認旗掲示率:約 70%)
- 応答無世帯:28
- 計:382 世帯 (自主防災部の安否確認データと数軒の差異有⇒更新済み)
- 訓練開始時刻 8:30 に対し、報告時間は 8:53 ~ 9:30

また、アンケート結果からは、“防災意識の向上に役立った”というご意見もいただきましたが、一方、以下のような種々の課題・反省点も浮かび上がりました。

分類	問題点
安否確認シート	記入方法の周知徹底が必要 黄色い安全確認旗掲示状況の記入欄が無い
黄色い安全確認旗	掲げられている割合が少ない(平均:約 70%) 上記割合が組毎に大きく異なる 掲示場所が道路から見にくい世帯があった 紛失されてしまった世帯もあった
共助	道路に出て、近所を確認している姿が少なかった
組長支援	各組への到着のタイミングが遅いケースがあった 年齢的に歩き廻るのが大変だった

これらの課題を少しでも解決していくことが、次回の防災訓練の目的となります。次節にて、変更点を含め、具体的に説明させていただきます。

なお、紛失された黄色い安全確認旗についての対処方法については、自主防災部役員会にて意見を集約中です。
(なお、ご相談・問い合わせは事務局長 堀内☎ 080-4246-8508 まで。)

防災訓練時の自主防災部の活動(対策本部立上げ、安否確認情報集計、広報チーム・組長支援チーム立上げ等)においても、数多くの課題が見つかりました。“頭の中での理解⇒スムーズな行動”には反復が必要ですが、次回以降の訓練で身に着けていきたいと考えております。

3. 第2回(11月13日)防災訓練へ向けて

第1回防災訓練の課題・反省点を踏まえ、次回の防災訓練では、以下の事項を重要テーマとして実施したいと考えております。(平素より、自助に対しての準備・対策を実施していただいた上で)
また、安否確認システムの考え方については、なまず通信 4 月号を参照お願い致します。(過去のなまず通信は、衣川台自治会ホームページにアップされております。是非ご活用お願いします。)

- A) 黄色い安全確認旗掲示の徹底
- B) 共助活動
- C) 安否確認シートの報告方法
- D) 全戸アンケートの実施

A) 黄色い安全確認旗掲示の徹底

前回の訓練では、組によって黄色い安全確認旗の掲示率が、ほぼ 0% ~ 100%と大きな差異が発生してしまいました。掲示されていない場合は、組長等の安否確認者がチャイムによって確認する必要があるため、確認に要する時間も大幅に増えるとともに、安否確認者の負担も大きくなります。
また、掲示方法に関しては、なるべく道路から確認できる位置に掲示お願いします。(ご高齢などで困難な場合は、チャイムのある場所から確認できる位置に掲示をお願いします。)

B) 共助活動

黄色い安全確認旗の掲示は、それ自身の負担が少ないことから、共助単位である“向う3軒両隣り”内でお互いに無事を確認するという共助活動がおろそかにされないかということは、当初から懸念事項として挙げられており、新安否確認システムの説明会でも共助活動の実施をお願いしておりました。しかしながら、組によってかなり差があったものの、懸念は的中してしまいました。
今回の訓練においては、共助単位でお互いの安全確認旗掲示の確認をおこなうと共に、組長等の安否確認者が廻ってきたとき、状況報告をお願い致します。また、安否確認者がご高齢等で大変な場合は手伝っていただく等、共助活動へのご協力をお願い致します。

C) 安否確認シートの報告方法

組長、前年度組長および組長補助者(組長の近隣住民で組長から補助を頼まれた方、自主防災部の組長支援チーム)へのお願いです。最初に、安否確認シートの裏面からの抜粋を記載いたします。

<組長・前年度組長・組長補助者の役割>

1. 震度5弱以上の地震が発生したら、直ちに組長は腕章を着用し自宅前に立ってください。前年度組長、組長補助者は速やかに安否確認シートを持って組長宅前に駆けつけてください。
2. 組長・前年度組長・組長補助者の内1名は組長宅前に待機した上で、協力して組内を回り、…
3. 「安全確認旗」が掲示されていない世帯があれば、近隣住民とともに声かけをして安否を確認してください。…
4. 組長は安否確認結果を安否確認シートに記入し速やかに対策本部に提出してください。

前回の訓練においては、自主防災部からのお願いもあいまいでありましたが、上記のとおり、

- 組長宅前に、必ず一人が待機していただくようお願いいたします。自主防災部からの支援チームは、対策本部からの出向になりますので遅れることが想定されます。その場合、組長宅前に誰もおられ

ないと有効に支援ができなくなってしまう。

- 組長支援チームの到着が遅れている場合は、一人待機の上、組内チェックを開始してください。
- 安否確認シートの提出に際しては、上記安否確認メンバーにて再確認をおこない、どなたかが対策本部に提出をお願いします。
- 組長は状況に応じて、近隣の方にも補助をお願いしてください。

次に、安否確認シートの記入方法を、前回の反省点を踏まえ、少し更新させていただきます。

下記色付きの部分を変更させていただきました。

- 黄色い安全確認旗の掲示が有る場合○を記入お願い致します。
- 上記掲示が無い場合は、チャイム・声掛け等で確認いただき、応答の有り無しに応じて、○×の記入をお願いします。(有事の際は、その場合の対応:自主防災部への対応要請、窓からの室内確認等を備考欄に記入をお願いします。)

安否確認シート

施行日：2022年11月13日 自主防災部

震度5弱以上の地震に備え、いつでも使えるよう大切に保管してください。

組 組長 :
前年度組長 :

報告者
氏名

名簿作成日：2022年3月31日

世帯名	要援護者世帯		安否確認結果(災害時・訓練時記入)						
	要援護者 人数	避難時 支援方法	安全確認 旗(○)	応答 (○×)	けが 人数	火災 発生	近隣支援 実施(○)	本部救援 要請(○)	備考

(注記)上記の安否確認シート更新版は、組長、前年度組長宅に訓練前日までにポストインさせていただきます。安否確認データの更新(例えば転入・転出)があった場合は共助メンバーに配布するように心がけていますが、少し遅れる場合がありますのでご容赦をお願いします。また、新年度には組長の変更を含め、必ずデータの更新がありますので、配布致します。

D) 全戸アンケートの実施

今回は、組長、前年度組長および組長支援チーム等一部の方にアンケートをお願いしました。おかげさまで上記のように有益な情報を得ることができました。

今回は、全住民にアンケートをお願いしたいと考えております。今回は主に活動していただいた方々からのご意見を賜りましたが、一般の方々のご意見も賜りたいと考えております。ご協力をお願い致します。なお、本なまず通信にアンケート用紙を添えて配布しております。記入方法および提出方法については、アンケート用紙の指示に従ってください。

4. その他ご連絡

a. 救出救護訓練ご報告(第1回防災訓練時に実施)

第1回防災訓練では、安否確認訓練に引き続き、救出救護班および役員による救出救護訓練を実施しました。内容は次の通りです。

- 救護所設営
- 簡易ベッド組立
- 担架搬送

段取り良く、真剣に訓練がおこなわれました。また今後の課題も提出され、非常に有意義な訓練でした。



b. 消火訓練(9月4日実施)

衣川台自治会(自主防災部)では、定置消火器の更新に係わる購入補助金の供与を受けています。その申請に必要であることもあり、年1回の消火訓練を実施しております。昨年同様、本年も自主防災部役員と消火班を中心に実施しました。

本年度の消火器更新から、従来の強化液消火器が価格アップのため、同等性能の粉末消火器への変更を進めてまいります。なお、消火器本体の重さは10kgから6kgと軽くなっています。

当日は、大津市北消防署の署員の方々からの説明もあり、訓練用水消火器による消火訓練および携帯電話による119番通報訓練を実施しました。



以上



(次ページは、裏表紙の「2022年度衣川台第2回防災訓練」のご案内の続きです。)

安否確認訓練の流れ

8:30 大地震発生！！

イメージ！

自分の安全を守る 例 机の下に入る 倒れやすい家具などから離れる

今回は訓練なので、
訓練終了後、取り外し
てください。

地震の揺れがおさまった後 家族の安全を確認する

大津市が震度5弱以上なら、衣川台の揺れが軽微でも黄色い安全確認旗を掲示する

○安全が確認できた場合【黄色い安全確認旗を家の前の見やすい場所に24時間掲示】

○けが人や火災で助けが必要な時 【近所の助けを呼ぶ】

けが人や火災の対応が済んでから【黄色い安全確認旗を24時間掲示】

共助単位である隣近所を見渡し【黄色い安全確認旗が出ているかどうか確認】

黄色い安全確認旗が出ていない場合は【声をかける】

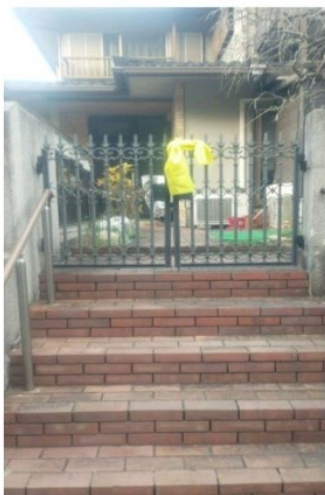
状況により、組長連絡や本部に救援を求める

震度5弱以上で自主防災部本部が立ち上がります

サイレンを伴った広報をおこないます。

組長・前年度組長・自主防災部本部より派遣された組長支援チーム1名は
安否確認シートを持って組長宅前に集合 待機者一人残し組内をまわる。

黄色い安全確認旗が掲示されているか安全確認シートにチェックした後
組長（あるいは代理者）が速やかに自主防災部本部に提出する。



安全確認旗を見やすい場
所につけてね！



photo - 4388220

衣川台にお住いの皆様へ

衣川台 自主防災部
部長 梶原 邦裕
事務局長 堀内 敦司

「2022年度衣川台第2回防災訓練」のご案内

今回の衣川台なまず通信10月号に記載の通り、第2回の防災訓練を実施させていただきます。何時、何処で発生するかわからない災害時に備えて訓練に参加し、自分の安全（自助）、近所の安全（共助）を守りましょう。

記

1. 日 時 2022年11月13日（日）（小雨決行）

午前8時30分～10時30分（雨天、荒天時は組長宅に中止等の貼紙）

2. 安否確認訓練（荒天時以外は実施）

（1）訓練対象 全世帯

（2）訓練時間 8時30分～9時30分

（3）内 容 ①8:30に震度5弱の地震発生！

②自助（家族の安全確認 → 安全確認旗掲示）

③安否確認シート準備

④共助（共助単位の安全確認旗の確認）

⑤組長・前年度組長および自主防災部本部より派遣された組長支援チーム（1名）は安否確認シートを持って組長宅前に集合

待機者一人残し組内をまわる。⇒ 安否確認シートにチェック！

⑥組長（あるいは代理者）が安否確認シートを自主防災部本部に提出する。

⑦衣川台全住民対象のアンケートの提出をお願いします。

（4）ねらい 有事の時の自助、共助を新安否確認システム上で確認する。

第1回防災訓練時の課題・反省点の改善

3. 自主防災部内の活動

（1）内 容 活動班会議（10時～10時30分）



裏面も見てね！